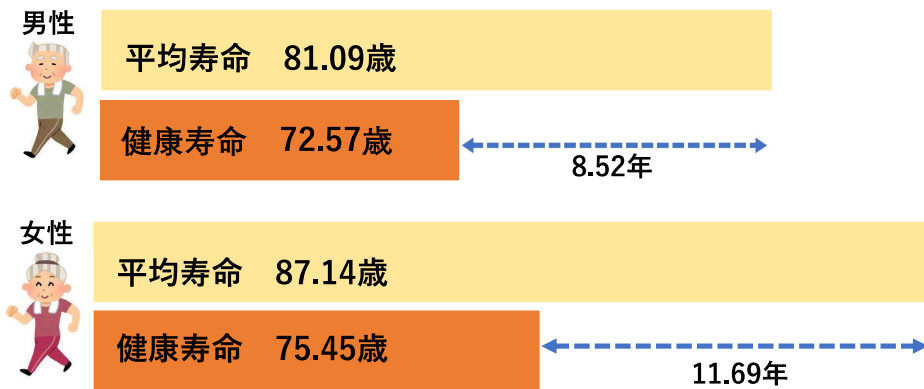


骨折の連鎖を断つために

～二次性骨折予防の重要性とリエゾンサービスの実際～

1

健康寿命と平均寿命



・厚生労働省、令和5年簡易生命表、2024。
・厚生労働省、健康寿命の令和4年値について、2023。を参照して作成

3

脆弱性骨折の影響

健康寿命の短縮

自立した高齢者の生活を
一変させてしまう

健康が取り柄の私が、
まさか骨折するなんて。
あの一瞬を悔やみます。

医療費の増大

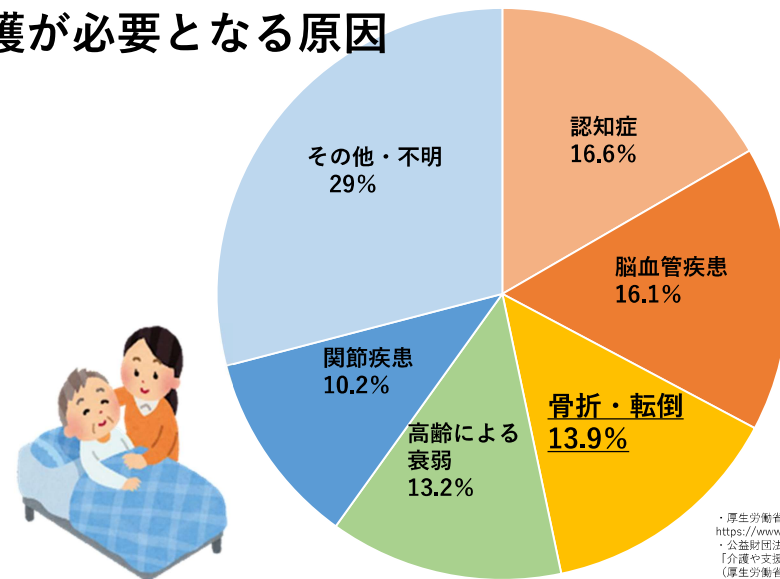


働き世代の 介護による離職



2

介護が必要となる原因



・厚生労働省、令和4年 国民生活基礎調査
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-21.html>
・公益財団法人 生命保険文化センター
「介護や支援が必要となった主な原因」
(厚生労働省 国民生活基礎調査2022年より作成)

4

骨粗鬆症を知ろう
 患者さんを見つけよう
 多職種で早期に介入しよう
 骨折の連鎖を食い止めよう

患者さんの未来を変える可能性を
 私たちは持っている



5

Fracture (骨折) Liaison (リエゾン=連携) Service

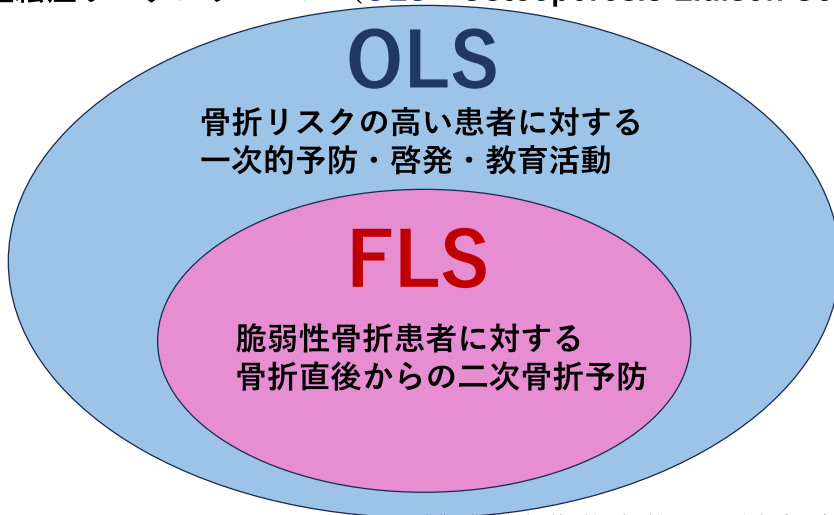


- ▶多職種で包括的な介入をする
- ▶骨粗鬆症治療開始の徹底や治療継続率を上げる
- ▶地域連携で切れ目のない支援が必要

二次性骨折を防ぎ、骨折の連鎖を断つ

6

骨折リエゾンサービス (FLS : Fracture Liaison Service)
 骨粗鬆症リエゾンサービス (OLS : Osteoporosis Liaison Service)



出典：荻野浩.脆弱性骨折予防に対するOLSの役割 (2024) を参考に作成 (改変)

7

FLSクリニカルスタンダード

FLSのスキーム (5i)



一般社団法人 日本骨粗鬆症学会
 NPO法人 日本脆弱性骨折ネットワーク

8

ステージ3 投薬を含む治療の開始



▶骨粗鬆症治療対象患者に投薬を含む治療の開始

- ・ 整形外科多職種カンファレンス
骨粗鬆症治療薬の検討と今後の治療方針の決定リハビリの進捗と評価、転院先の情報共有等

参加職種：医師・病棟師長・病棟看護師・薬剤師
リハビリ・MSW

- ・ かかりつけ医への紹介状作成、紹介



17

ステージ4 患者のフォローアップ

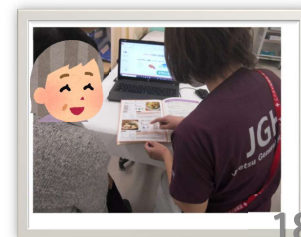


▶患者の治療継続と治療効果を評価するフォローアップ

- ・ 骨粗鬆症外来（毎週月曜日）
術後約3カ月の回復期リハビリテーション病院を退院後の患者が受診

医師・継続治療の確認と必要時薬剤変更
看護師・骨粗鬆症についての指導（運動、栄養）、注射方法の手技指導
リハビリ・運動機能評価

- ・ 患者状態確認の電話連絡（カレンダーに付箋を貼り管理）
- ・ 継続治療を目的としたかかりつけ医への紹介



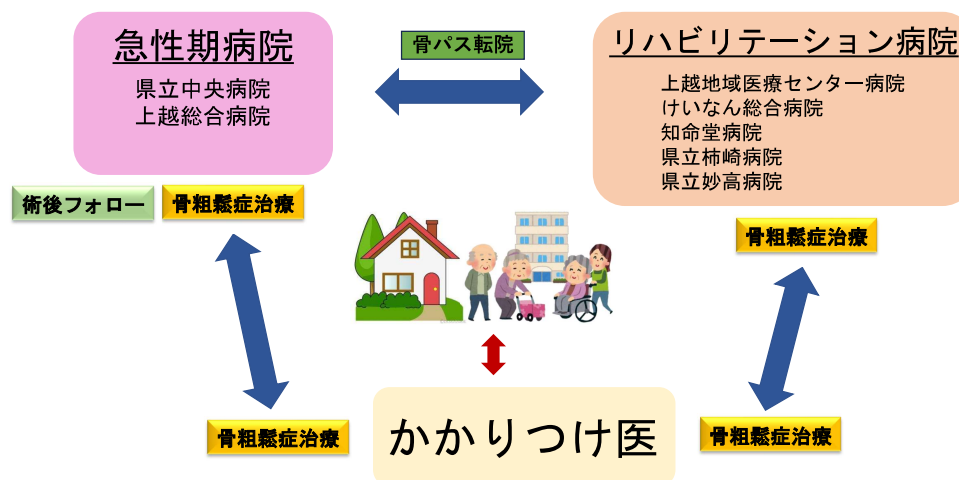
18

かかりつけ医への事前確認依頼書

- ・ MSWが手術日家族との面談時に
かかりつけ医の有無を確認
かかりつけ医へ事前に継続治療を依頼する

19

上越地域における骨粗鬆症連携



20

ステージ5 患者と医療従事者への教育と情報提供



脆弱性骨折と治療の重要性について知識を深める

- 再骨折予防の指導
- 骨粗鬆症新聞の発行
- 院内全職員へ向けた院内研修システムを利用した動画研修
- 地域へ向けた啓発活動

21

骨粗鬆症委員会新聞

看護師

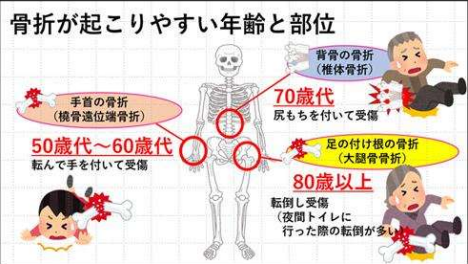
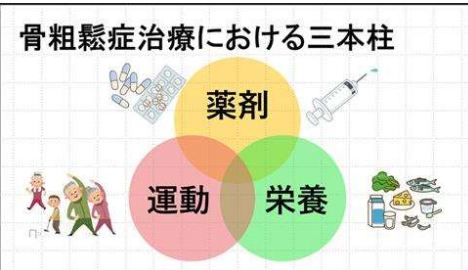
リハビリ

管理栄養士

MSW

22

地域へ向けた啓発活動（NIC健康セミナーに講師として参加）



23



骨粗鬆症サポーターのみなさまへ

骨粗鬆症治療は継続することが大切です。
 患者さんや家族が治療の必要性を理解し継続して
 治療を受けられるよう、多職種の多角的な視点や知識で
 サポートしていきましょう



24